

MNMプロジェクト

イントロダクション

私達は日常生活において様々な物や動物、観葉植物などに囲まれ、暮らしています。今まだ眠っている音の数々、独自調律されたピアノ、ガラス、抽象的なメカニズム、、、想像してみてください、一つの空間がそれらの音で満ちあふれている状況を。

この驚くべきパフォーマンス（re-パフォーマンス）は、DJ、そしてサウンドアーティストであるMieko Suzukiによって、新たなサウンドが呼び起こされる。ビジターは彼女のユーモア溢れる動きと共に、自由にリアルタイムでトリガーやミキシング、スクラッチ、また、話しかけたり、、、自在に操ることが出来る。

ビジターは、いくつかのボタンとレバー（腕）を自由に動かし、パフォーマンスを操作することが出来ます。

このメソッドは、ビジターが主人公に直接に接触する感覚を与える。これは以前の作品であるメディアスロットマシーン"Mindbox" のCGの原理に基づいています。今回は代表的なフルーツマシーンを使用する代わりに、日本の伝統的な厄除け人形"招き猫"をCGに採用します。

招き猫は、福、開運、を招くシンボルとしてよく知られています。また、このプロジェクトのタイトルである：MNM は Maneki Neko Mieko が由来。

このプロジェクトの発展と具体的な修正は極めて重要な事柄です。

その過程の実現は、常に広いスペース（遊び）を残しながら実験と即興を繰り返し行っていく。

しかしながら、最終的に、まるでスイスの時計のように精密なインストールを行います。

MNM は3つの画面を使ったメディアインストールという計画に基づいて行われる。また、ライブバージョンはMiekoのDJイベントと一緒に行われることになるであろう。

私達の作り出す音源、ビジュアルを使ったインストールは、現代美術やアンダーグラウンドクラブカルチャーのカテゴリではなく、独自に位置づく事を期待しています。

*H.RPMC = Re Performing Musical Characters, ビデオポートレートシリーズ、高度に発達した音楽用要素と進歩したビジターアクセス。

DJ, オーディエンスは、一つのインターフェイスとしての役割を果たすことができる。

技術者様: 私達はビデオ撮影においてadvanced motion capture systemを利用することを考慮しています。音源と映像のデータはMNM、'FeedBack 5'、RPMC で使用します。